

表浜むかし話

「かご池の桜」

山田もと著

田原町大草の、かご池の土手に、古い山桜の木があります。二かかえもあるみきが、池の方へぐんと出て枝をはり、上にのびた枝がまたひろがって、二階屋のようになっていました。毎年白い花がいっぱいさきました。

むかし、このあたりの子どもは、みんなここで木ぼいやいをやりました。

大将かくの上級生が、遠くから走ってきて、桜の根本を、枝がわかれている所まで、てっばでかけのぼります。ほかの子も、思い思いの木にのぼって、じゃんけんをし、鬼がきまると、枝から枝を逃げまわり、追っかけるのです。桜の枝は四方にひろがっていたので、椎の木へも、とっぺらへも、えの木へもうつれます。逃げ場がなくてつまったり、地面におりと鬼でした。

わたしは木のぼりがへたでしたから、桜の木に、てっばでかけのぼることを、ひっしでならいました。

また、横にのびた桜の枝へ逃げていって、そこからとっぺらにうつることができず、一ばん先っぽまでいってしまいました。ふっと下を見ると、雨あがりだったのか、かご池に水がたまっています。わたしは、しなる枝にしがみついて、泣きだしました。みんなが、「もつとの泣きべそ、もつとの泣きべそ。」

と、はやしたてます。わたしは、泣きながらも、「ここまでおいで、おたからしんじょ。」といって、雨蛙のように桜の枝にしがみついていた。

上級生になると、わたしも女の子、木ぼいやいはしなくなり、雨あがりの桜の根本で、

山田さんは、田原中部小学校のPTA機関誌「家庭と学校」へ1964年から41年間にわたって156名の作品を寄せ、田原に伝わる民話や伝説、田原に縁のある人物の伝記はもちろん、地域の子どもの暮らしや伝え、多くの皆さんに心豊かな安らぎを与えてくださいました。「表浜むかし話」では、山田さんのご逝去後も、その作品を紹介させていただいております。

【著者紹介】
○1920年 神戸村大草志田生まれ
○1939年～47年 野田尋常小学校へ勤務
○1957年 名古屋童話作家協会入会
○1992年 田原町町政功労者表彰
○2004年 逝去

表浜国土記
Interview

「東南海地震の記憶」

六連町で農家を営む佐藤満さんに当時のお話を伺いました。

●ご出身は…
旧富山村の出身です。戦争が起き、食糧難の時代がくると予見した祖父に連れられ、昭和10年に、一家でこの表浜の地に移住してきました。富山村からは他にも大勢の移住者があり、今でも毎年2月20日には、移住記念日として、皆が集まり催しを行っています。

●当時、苦労したことは…
一番困ったのは「水の確保」です。富山村には豊富な水も、この地には乏しく、当初は、雨水をタンクに貯めて、飲料水としても使っていたぐらいです。

●東南海地震（昭和19年12月7日）について…
私が12歳の時でした。最初は何が起こったのか、全く分からなかった。父親の「地震だ!」の叫び声で我に返り、家の外に出ようとしたが扉が開かず、父親が体当たりで扉をこじ開け、皆で庭に逃げ出しました。地面が波打っていました。しばらくして辺りの様子を見に行くと、道はひび割れ、2階建ての家は何軒も潰れていました。当時は、津波という言葉は知りませんでしたが、海も500m位、潮が引いたと聞きました。あの恐ろしさは、今もしっかりと記憶しています。

●東日本大震災（今年3月11日）について…
昔は「地震が起きたら竹やぶへ逃げろ」とか聞かされたが、「とにかく安全な場所に早く逃げろ」ということ。日本中が教訓として、普段からの備えや、地域との連携について今一度見直して欲しいと思います。

～当時を振り返りながら貴重な体験談を語ってくれた佐藤さん～
最後に、この地に住んで、どうでしたかと尋ねると、「渥美半島はいいところ、こんな所には他にない、最高!」とにっこり微笑んでくれました。

富山開拓記念碑
昭和45年2月20日建立
（六連町・富山集会所内）

六連町 佐藤 満さん（79歳）

平成23年度事業計画

主要事業

第14回表浜自然ふれあいフェスティバル

日時 ●平成23年11月12日(土) 午前9時～午後1時
※悪天候の場合は12月10日(土)に延期

場所 ●久美原～大草の表浜一帯
※親睦会場は大草海岸

内容 ●海岸清掃、地引網（予定）、ビーチフラッグス、特産鍋の無料提供ほか

目的 ●表浜海岸の魅力、海岸浸食などの現状を広くPRすることで海岸整備の促進を図る

主な推進事業

農村総合整備事業：田原市産業振興部農政課
[大草・高松地区、東部地区]

農地・水・環境保全向上対策：田原市産業振興部農政課
[東部・六連・神戸・大草各校区]

海岸治山事業：愛知県東三河農林水産事務所

海岸保全対策：愛知県東三河建設事務所

森林公園整備 [谷ノ口地区]：田原市都市建設部街づくり推進課

★表浜情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見・ご要望・ご感想をお寄せください。

【発行】田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会（事務局：田原市役所政策推進課） 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL0531-23-3507

この冊子は再生紙を使用しています。

第13号

2011.10.15

『地域力』の必要性

本年3月11日（金）14時46分、日本国内において観測史上最大の地震（東北地方太平洋沖地震）が発生し、東北地方を中心に津波等による未曾有の被害をもたらしました。

その大自然の猛威と怖さをまざまざと感じさせられ、また、その爪あしが大きい分、それ以上に大きなものを得たのではないのでしょうか。

日本国中の人たちが一つになり、復興のための支援や協力の大切さ、また、いざと言う時の隣近所や、地域の助け合いの重要性など、人が生き抜くためのすべを学んだ気がします。

今一度、この大震災の教訓を生かし、わたし達、自らが先頭に立ち、防災に対する意識と、そして、『地域』の「力」を見つめなおす時なのかもしれません。

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会
表浜地域づくり情報誌
し お さ い

潮騒

CONTENTS

協議会の活動報告
表浜むかし話「かご池の桜」
特集「各校区の行事」地域の主な年間行事（地域力）を紹介します
表浜風土記
平成23年度事業計画

東部校区（里山野外学習）

六連校区（豊川用水二期事業）

表浜自然ふれあいフェスティバル

大草校区（地引網）

神戸校区（ええZONEマーケット）

「みんなで考え・行動する地域づくり」
田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

◆会長あいさつ
本協議会も発足以来15年を経過し、神戸・大草・六連・東部の4校区が一丸となり、少しずつではありますが、自立した地域活動を歩み進めてまいりました。
平成17年に策定しました谷ノ口地区整備基本計画につきましては、市と協働で、集落環境整備が進められていると同時に、森林レクリエーション公園（仮称）を改め「表浜ほうべの森」の整備も着手しております。協議会として、また、東部太平洋岸地域全体としても、その実現が大きいに期待されているところであります。
今後も、4校区のつなかりをより深くするとともに、渥美半島が一つになり、同じ海岸環境を持つ地域との連携も視野に入れながら、行政と一体となって取り組んでまいりたいと思っています。
最後に、太平洋岸の快適で住みよい生活環境整備が実現されるよう活動していきたいと願っております。

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会
会長 村瀬精彦

◆協議会活動の経過◆

H8.1 協議会発足
H8.3 沿岸部に関する地元要望作成
H9.3 基本構想「サングリーン21」策定
《方向性》
・自然環境の保全と活用
・農業基盤、農村環境の整備
・観光・レクリエーション施設の整備
・幹線道路の整備
《展 開》
・太平洋岸の魅力を発信するイベントの開催
・海浜・崖森・農地エリアのエリア別の整備促進
・渥美半島全体の連絡調整
・関係機関への要望運動等の展開
H9.11 専門部会設置
H10.3 海浜・崖森エリアの基本計画策定
H10.10 農地エリア整備の地元検討書作成
H10.11 第1回表浜自然ふれあいフェスティバル開催（以後毎年開催）
H13.12 海浜拠点整備地区の選定（谷ノ口地区）
H15.3 ええZONEガーデン整備計画策定（谷ノ口総合整備促進協議会）
H16.7 国土交通省事業「地域振興アドバイザーを受け入れ（ ）」
H17.3 谷ノ口地区整備基本計画策定（ ）

協議会組織（平成23年10月現在・順不同）

役員

表浜自然ふれあいガーデン 実現に向けての動き

ハード事業

◆海岸整備（県事業）
◇海岸保全事業（傾斜護岸）：百々海岸（H19）、離岸堤調査・工事（豊橋田原海岸） ◇海岸治山事業：8箇所要望中

◆拠点地区の整備促進（市事業）
◇公衆便所整備事業：谷ノ口海岸（H9）・大草海岸（H10）・百々海岸（H11）・東ヶ谷海岸（H13）
◇海岸駐車場事業：大草海岸（H11）・百々海岸（H12）
◇道路整備事業：南谷ノ口1号線改良（H15）・寺前上り口線拡張（H16～H18）・高畑谷ノ口線改良（H17）
谷ノ口海岸線拡張（H17～）・R42公民館前交差点改良（H18～）
◇公園整備事業：（仮称）谷ノ口森林レクリエーション公園整備（H18～）

ソフト事業

◆表浜自然ふれあいフェスティバル（協議会事業）
◇メイン海岸：H10谷ノ口・H11大草・H12百々・H13東ヶ谷・H14大草・H15百々・H16分散開催・H17大草・H18百々・H19東ヶ谷・H20大草・H21百々・H22東ヶ谷

◆表浜のレクリエーション
◇健康ウォーキング大会（市教育委員会）：H10東ヶ谷海岸・H11大草海岸・H14谷ノ口海岸・H15百々海岸・H17百々海岸
◇ふれあいウォーキング大会（六連青少年健全育成）：H13六連海岸

農地エリアの整備 実現に向けての動き

ハード事業

◆農村・農地の整備（市事業）
◇農村総合整備：神戸地区（H12～H16）・大草、高松地区（H18～）・東部地区（H19～）
◇農用地基盤整備事業：谷熊新田排水対策（H20～） ◇農地・水・環境保全向上対策（H19～）

ソフト事業

◆農地基盤に関する実態調査（市事業）
◇農地基盤再整備に関する調査：H11表浜全域

多額の予算を必要とする海岸保全事業の継続的な実施には、国土保全・防災面に加え、表浜海岸の持つ多面的価値の創造を行い、投資効果の向上を図る必要があります。

地域活動内容

■大草／■神戸／■六連／■東部



●我が家の想定内

大草市民館 主事 藤原勝子

「想定にとらわれないこと」…防災教育で有名な片田敏孝先生が子どもたちに教えた一つです。私はこの言葉を聞いて、我が家の周りを改めて見直しました。我が家は海拔28メートル。緊急避難場所より高い位置。家屋は耐震基準を満たす。地震・津波には絶対大丈夫だと思っています。でも、本当に大丈夫なのか？我が家のすぐ近くには、大人が歩ける程の大きな豊川用水本管が通っています。もし、これが破裂したら土砂崩れが起きます。高いところにあるということは、竜巻の被害も考えられます。今まで想定外だったことを想定内にして、日頃から災害への備えを今まで以上に心がけたいと思います。



大草海岸



南町海岸



谷ノ口海岸



東ヶ谷海岸



百々海岸



浜田海岸



久美原海岸

現在、市内の太平洋岸を中心に23局の赤色回転灯屋外子局が設置されており、内東部太平洋岸地域には7つ設置されています。この赤色回転灯は、津波等の非常災害時の情報を、「赤色灯の点滅」「サイレン」「音声放送」でお知らせします。

防災行政無線屋外子局

(地表から高さ14.9m)

赤色回転灯付



●我が家(自分)の防災対策

神戸市民館 主事 三浦孝之

災害と言うと地震が台風を思い浮かべる。台風は毎年来るが、我が家はサラリーマン世帯なので、雨戸を閉め、雨水道の点検程度で、過ぎ去るのを待つだけである、幸いにも私の住む神戸市場地区は高台なので、水害の心配は非常に少ない。しかし農作物の被害の心配は尽きない、周りは農家の人が多いので人ごとでなく被害がでると渥美の活気(景気)にも影響がありとても心配である。

火災は自分自身が気をつければ、大概防ぐことが出来ると思う、それでも消火器、煙探知機、バケツの水、ガスの元栓閉じ等、には注意する。しかし地震はいつ何時来るか分からないので、地震対策が必要。先ず家具の転倒防止、飲料水の確保、保存食の買い置き、持ち出せるものは電池など明かり、眼鏡、携帯電話、軍手、程度は用意してある。私は多分に人任せで、出たとこ勝負の性格、何とかなと思っている。が今一度考え直して、再出発しなければいけないと思っています。防災訓練にも積極的に参加し防災の知恵を得たいと思っています。

■年間行事予定

日程	内容	場所
10月中旬	校区高齢者グラウンドゴルフ大会	神戸運動公園
10月下旬	市民館まつり	神戸市民館
11月上旬	校区フレンドパーク(ウォークラリー)	神戸運動公園
11月中旬	校区高齢者ゲートボール大会	神戸運動公園
	海釣り大会(谷ノ口)	谷ノ口・南町海岸
	神戸を美しくする推進デー	各地区
1月中旬	歩け歩き運動	神戸市民館・神戸大池
3月中旬	校区戦没者追悼式	神戸市民館
毎月第1日曜	神戸大池ボランティア活動	神戸大池周囲
通年	神戸炭焼き窯活動	神戸炭焼き窯



●非常持出袋

六連市民館 主事 河合清美

何年か前に、旧田原町より非常持出袋が各戸に1つ配布されました。当時私は万に備えてと思いつぐその袋の中に乾パン、飲料水、軍手、笛等いろいろな物を詰め込みました。時が経つにつれ、その袋はいつの間にかどこかへ片付けられ目のを見なくなりました。

しかし、3月11日におきた東北地方太平洋沖地震を機に袋の中身を点検すると、「飲料水の期限が切れてる!」「下着(子供の)が小さすぎる!」(当時は小学生)等々。

そこで、ライフラインが回復するまで約3日間といわれているので、必要な物などを家族で検討し、また避難場所なども確認しあいました。

災害対策として、防災用品の準備だけでなく、日ごろから、もし地震などがあった場合に備え家族の安否確認の連絡のとり方や集合場所などを決めておくことも大切ではないかと思います。

■年間行事予定

日程	内容	場所
6月中旬	独居老人とのふれあい食事会	
8月12日	夏まつり	六連市民館
9月第1日曜	敬老会	六連市民館
9月第3土曜	運動会	六連小学校運動場
10月第3日曜	各地区祭典	各地区
10月第4土曜	ミニバレーボール大会	六連小学校体育館
11月第1日曜	市民館まつり	六連市民館
11月第2日曜	地区防災訓練	各地区
11月最終土曜	バレーン教室&バレーンショー	六連市民館
11月下旬	グラウンドゴルフ大会	六連市民館拠点公園
12月第1土曜	バドミントン大会	六連小学校体育館
1月下旬	教育講演会	六連小学校体育館
	グラウンドゴルフ大会	六連市民館拠点公園
3月第2日曜	おたがまつり	長仙寺
3月18日	六連神社大祭	六連神社



●田原東部校区の防災について

東部市民館 主事 千賀優子

校区内の防災は、各自治会が防災整備を推進する形で進めておりました。今年3月11日に発生した地震による「東日本大震災」の災害をみて、校区自身も防災備品を早急に整える必要を痛感しました。東部市民館は市の第二次避難場所の指定施設ですが、防災備品の整備は全く不十分が実態です。このような状況では予想される東海等地震の発生や台風などで災害が発生した場合、避難場所としての機能が果たせません。校区自身も防災備品の整備を進めることに決め、次年度から必要な備品の整備を図ります。校区も予算的に厳しい状況ですが、可能な限り整備を進めます。なお防災は校区全体のバランスも重要との観点から、各自治会に対しても防災備品の再確認とともに、一層の整備をお願いしています。

ツナミ(Tsunami)は日本発祥の国際語?

Tsunami

国際学術用語【ツナミ(Tsunami)】

「津波(浪)」の語が文献に現れる最古の例は、1611年に発生した慶長三陸地震についての記述があり、その後、1946年のアリユーション地震でハワイに津波の大被害があった際、日系移民がツナミ(Tsunami)という語を用いたことから国際語化されたと言われています。英語でもTsunamiで通じます。

その当時の表記としては、「津波(浪)」の他に「海立」、「震汐」、「海嘯」と書く場合があり、これらすべて「つなみ」と読むそうです。

■年間行事予定

日程	内容	場所
7月中旬	ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	田原東部市民館
7月下旬	田原東部校区三世代グラウンドゴルフ大会	東部運動公園
8月中旬	田原東部校区夏まつり(盆おどり)	田原東部市民館
9月第2土曜	敬老会	田原東部市民館
9月中旬	合同運動会	田原東部小学校
10月上旬	田原東部校区ソフトボール大会	東部運動公園 神戸運動公園
10月中旬	市民館まつり 東部校区祭礼 (ようかん祭・手筒花火)	田原東部市民館
10月下旬	田原東部校区戦没者慰霊祭	田原東部市民館
11月上旬	ゲートボール大会	田原東部市民館(内) ゲートボール場
12月上旬	田原東部校区ミニバレーボール大会	田原東部市民館 田原東部小学校

災害時の避難所

大草校区

- 大草校区 大草小学校

神戸校区

- 川岸、漆田一区、..... 田原東部中学校
漆田二区、漆田三区、
神戸市場
- サンコート、東赤石 神戸市民館
- 青津、希望が丘、..... 神戸小学校
赤松、志田、新美、
南町、谷ノ口、東ヶ谷

六連校区

- 六連校区 六連小学校

田原東部校区

- 豊島、やぐま台、御殿山 田原東部小学校
- 相川、谷熊 田原東部市民館